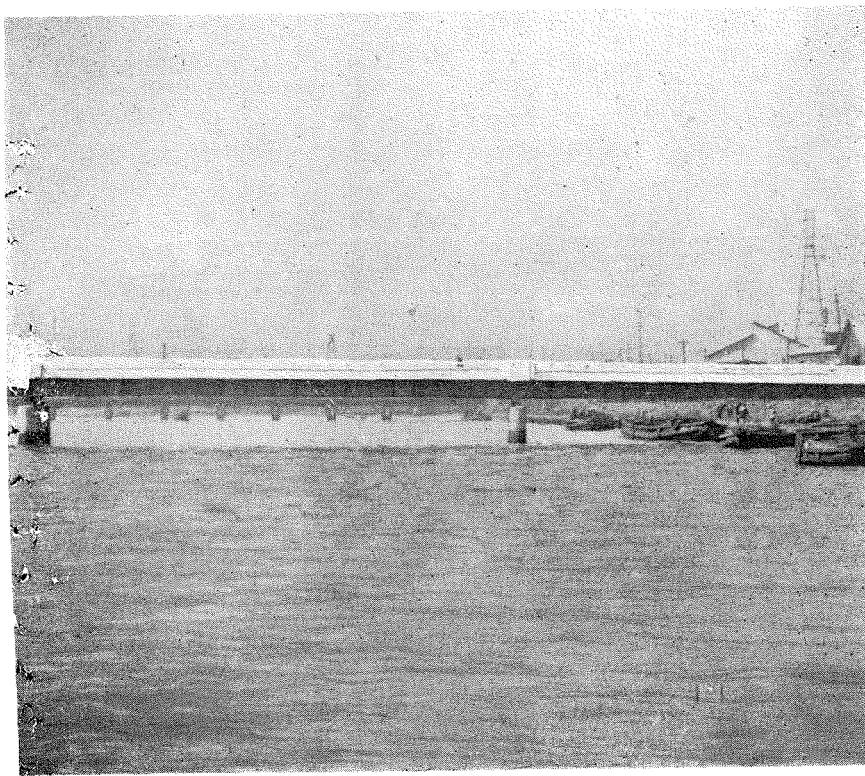


# 千 北 橋

大 阪 市 橋 梁 課 長

堀 威 夫

---



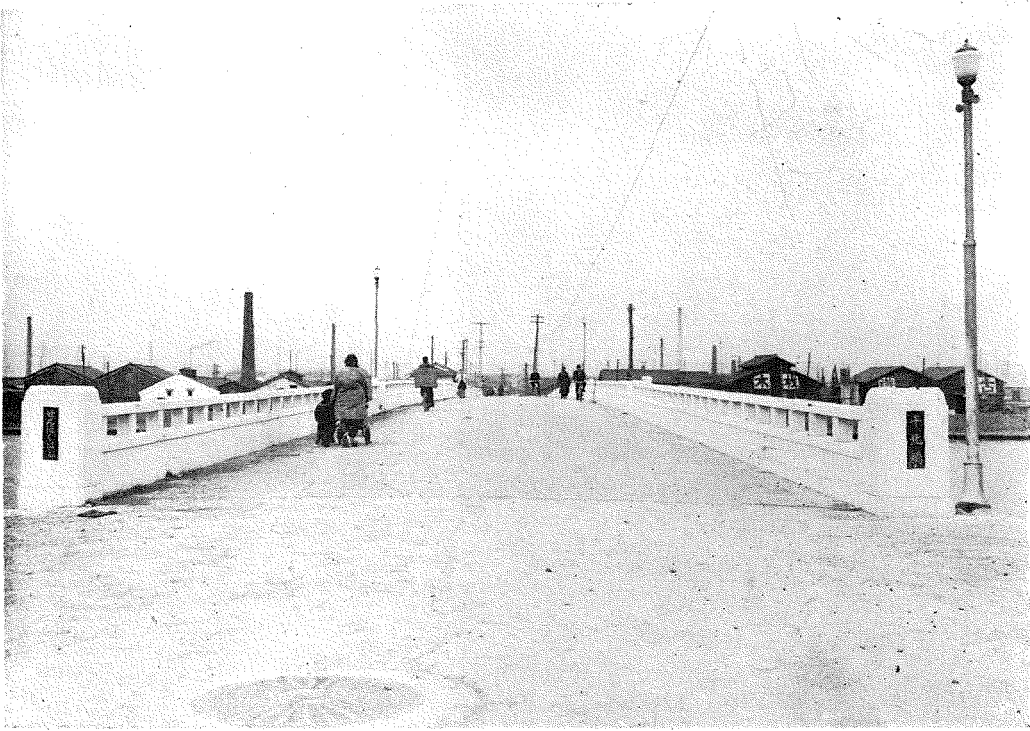
(1) 千北橋全景。

千北橋は昭和9年の關西大風水害に依つて大破せられたもので、昭和11年5月18日災害復興事業として架換工事に着手し、本年1月20日豫定の通り竣功を見た。北詰は大阪市西淀川区佃町、南詰同區出來島町、大阪尼崎線神崎川に架設され、上流には千船橋がある。

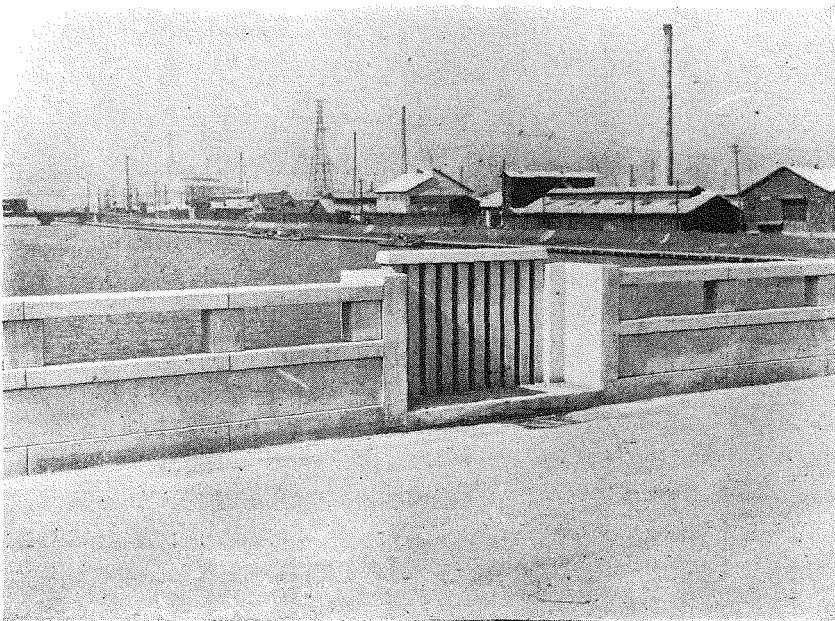
橋長189米80、有效幅員7米0、上路ゲルバー鋼桁橋で5徑間より成る。橋脚基礎には箱枠を用ひて厚2米50の中コンクリートを施した。橋脚軀體は鉄筋コンクリート造。勾欄は鋼材節約の趣旨に順應し全部コンクリートブロックを以て築造し、アサコート塗装とした。張出部等相當繊細な部分があるため

出來上りの具合を心配したが、型枠を頑丈に造ること、施工を細心にする等によつて、木造として施工し得る部分はコンクリートブロックによつても亦施し得ると云ふ自信を得た。

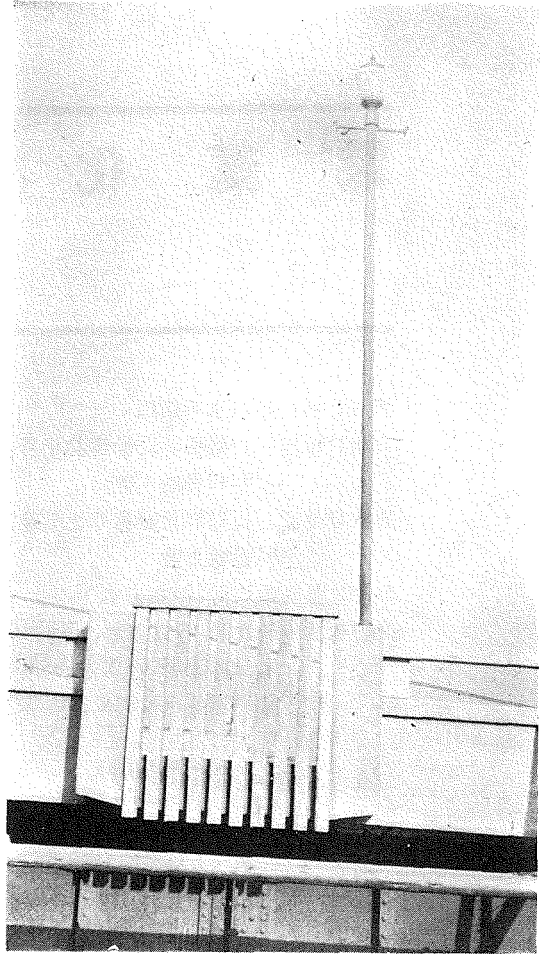
この勾欄は鉄材を使用すれば米當り80圓を要するが、コンクリートブロックに依る米當り工費は17:8圓で濟んだ。また橋名板は普通金屬板を使用するが、本橋に於ては黒花崗石を水磨きとして文字を彫刻した。一枚約20圓位で出來、然も盜難の恐れが絶対にない工事は下部構造を市村組の請負とし鋼材製作は日本橋梁株式会社である。



(2) 千北橋正面



(3) コンクリートブロックの高欄。



(4) 高欄と燈柱。

(5) 側面の一部。

